



2020年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社アンビスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7071 URL <https://www.amvis.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役 CEO (氏名)柴原 慶一
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 CFO (氏名)中川 徹哉 (TEL)03(6262)5150
 定時株主総会開催予定日 2020年12月25日 配当支払開始予定日 2020年12月28日
 有価証券報告書提出予定日 2020年12月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期の連結業績 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	9,174	70.9	1,826	100.8	1,728	99.9	1,204	99.9
2019年9月期	5,369	73.0	909	113.0	864	110.0	602	109.7
(注) 包括利益	2020年9月期 1,204 百万円 (99.9%)		2019年9月期 602 百万円 (109.7%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年9月期	53.78	52.31	38.3	14.7	19.9
2019年9月期	30.13	—	78.4	16.7	16.9
(参考) 持分法投資損益	2020年9月期 — 百万円		2019年9月期 — 百万円		

- (注) 1. 当社は、2019年7月31日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。また、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、1株当たり当期純利益、潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 2019年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2019年9月期において非上場であり、期中平均株式が把握できないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	16,464	5,216	31.7	231.60
2019年9月期	6,997	1,070	15.3	53.51
(参考) 自己資本	2020年9月期 5,216 百万円		2019年9月期 1,070 百万円	

- (注) 当社は、2019年7月31日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。また、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年9月期	1,114	△5,253	7,021	3,335
2019年9月期	445	△1,139	660	452

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年9月期	—	0.00	—	6.00	6.00	60.00	10.0	7.80
2020年9月期	—	0.00	—	6.00	6.00	135.13	11.2	4.21
2021年9月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00		12.4	

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年9月期の期末配当金については当該株式分割前の実績を記載しております。

3. 2021年9月期の連結業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,118	49.9	843	△15.2	625	△6.0	27.79
通期	14,045	53.1	2,307	26.3	1,633	35.6	72.52

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年9月期	22,522,000株	2019年9月期	20,000,000株
② 期末自己株式数	2020年9月期	120株	2019年9月期	—株
③ 期中平均株式数	2020年9月期	22,397,003株	2019年9月期	20,000,000株

(注) 当社は2019年7月31日付で株式1株につき200株の株式分割を行っております。また、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年9月期の個別業績 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	1,120	99.1	286	852.0	273	—	236	—
2019年9月期	562	37.7	30	△74.9	23	△80.3	17	△83.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期	10.55	10.26
2019年9月期	0.89	—

(注) 1. 当社は、2019年7月31日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。また、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、1株当たり当期純利益、潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 2019年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2019年9月期において非上場であり、期中平均株式が把握できないため、記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	9,348	3,329	35.6	147.83
2019年9月期	2,035	151	7.5	7.58

(参考) 自己資本 2020年9月期 3,329 百万円 2019年9月期 151 百万円

(注) 当社は、2019年7月31日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。また、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは「志とビジョンある医療・介護で社会を元気に幸せに」を経営ミッションに掲げています。

わが国は2010年に超高齢社会へと突入し、2025年に団塊の世代がすべて75歳以上となることを契機に、高齢化の様相は今後一層強くなり、医療や看護・介護の需要はさらに高まるとされています。一方で、医療や看護・介護の制度を経済的に、また人的に支える労働人口の減少が予測されており、今後の高齢化の進展に対応し得る医療や看護・介護の持続可能な制度設計がわが国の根本的、かつ緊要な課題のひとつであることは論をまちません。

当社グループでは、この課題に対して、有料老人ホーム「医心館」とこれに関連するサービス（以下、「医心館事業」と言います。）の提供を通じて、在宅療養のプラットフォームを充実させ、地域の医療や看護・介護資源を効果的かつ効率的に利用できる仕組みづくりを行うことで応えてまいります。地域では、病床削減とこれに伴って療養の場を病院から「在宅（自宅や施設等）」へ移すとする政策を受けて、特に慢性期や終末期の患者における医療や看護・介護の需要が高まっています。

このことは、当社グループにとって有利な事業環境であり、引き続き事業を積極的に展開していく背景となっております。このような環境のもと、当連結会計年度において、医心館事業では新たに9施設を開設、全国29施設（2020年9月末日現在）でサービスを提供しております。これらの結果、当連結会計年度における当社グループの経営成績は、売上高9,174百万円（前連結会計年度比70.9%増）、営業利益1,826百万円（同100.8%増）、経常利益1,728百万円（同99.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,204百万円（同99.9%増）となりました。

なお、当社グループは医心館事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

（資産の状況）

当連結会計年度末における資産合計は、16,464百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,467百万円の増加となりました。これは主に、東京証券取引所JASDAQへの上場に伴う公募増資及び第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）等による現金及び預金が2,882百万円、増収による売掛金が741百万円、新規事業所の開設に伴う建物及び構築物や建設仮勘定等の取得等による有形固定資産が5,069百万円増加したこと等によるものです。

（負債の状況）

当連結会計年度末における負債合計は11,248百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,321百万円の増加となりました。これは主に、事業の拡大により給料等に係る未払金及び未払費用が312百万円、新規事業所の開設による投資に伴う借入金が4,169百万円、リース債務が329百万円増加したこと等によるものです。

（純資産の状況）

当連結会計年度末における純資産の部は、5,216百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,145百万円増加となりました。これは主に、当社普通株式の東京証券取引所JASDAQへの上場に伴う公募増資及び第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,500百万円ずつ増加したこと、並びに親会社株主に帰属する当期純利益1,204百万円により利益剰余金が増加する一方で、配当金の支払いにより利益剰余金が60百万円減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、3,335百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,882百万円増加しました。当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,114百万円（前年同期は445百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,727百万円、減価償却費264百万円、未払金及び未払費用の増加319百万円が生じた一方で、売上債権の増加741百万円、法人税等の支払340百万円が生じたこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は5,253百万円（前年同期は1,139百万円の使用）となりました。これは主に、新規事業所を開設したことに伴い有形固定資産の取得による支出4,895百万円、敷金及び保証金の差入による支出399百万円等が生じたこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は7,021百万円（前年同期は660百万円の獲得）となりました。これは主に、株式の発行による2,987百万円の収入、新規事業所を開設したことに伴う長期借入れによる収入3,278百万円、短期借入金の純増額1,145百万円が生じた一方で、長期借入金の返済による支出253百万円が生じたこと等によるものです。

(4) 今後の見通し

当社グループは、医心館事業のさらなる拡大のため今後も積極的な出店を進める方針であります。次期においては11施設（第1四半期：4施設、第2四半期：2施設、第3四半期：5施設）を新規開設し、2021年9月末時点で全国40施設（1,883床）となることを見込んでおります。その前提のもと、次期連結業績見通しは、売上高14,045百万円、営業利益2,307百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,633百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内同業他社との比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	452,904	3,335,780
売掛金	1,236,587	1,978,031
たな卸資産	2,890	4,638
その他	104,702	455,344
貸倒引当金	△585	△19,780
流動資産合計	1,796,500	5,754,014
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	753,775	3,491,260
機械装置及び運搬具（純額）	6,521	5,616
工具、器具及び備品（純額）	67,307	70,226
リース資産（純額）	2,922,755	3,213,530
土地	524,909	853,832
建設仮勘定	355,383	2,065,863
有形固定資産合計	4,630,654	9,700,329
無形固定資産		
のれん	39,969	23,430
ソフトウェア	5,291	1,989
その他	3,001	7,961
無形固定資産合計	48,262	33,382
投資その他の資産		
敷金及び保証金	453,652	718,025
繰延税金資産	78,619	162,336
その他	13,555	109,156
貸倒引当金	△24,000	△24,000
投資その他の資産合計	521,827	965,518
固定資産合計	5,200,744	10,699,230
繰延資産		
株式交付費	—	11,064
繰延資産合計	—	11,064
資産合計	6,997,244	16,464,309

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,446	27,510
短期借入金	200,000	1,345,000
1年内返済予定の長期借入金	211,773	597,356
リース債務	69,868	76,156
未払金及び未払費用	373,602	686,417
未払法人税等	184,570	472,595
賞与引当金	122,840	235,832
その他	85,205	144,339
流動負債合計	1,265,307	3,585,208
固定負債		
長期借入金	1,669,099	4,307,805
リース債務	2,900,223	3,223,196
繰延税金負債	16,295	7,830
資産除去債務	67,927	109,887
退職給付に係る負債	—	2,834
その他	8,138	11,441
固定負債合計	4,661,685	7,662,996
負債合計	5,926,992	11,248,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,000	1,540,904
資本剰余金	10,000	1,510,904
利益剰余金	1,020,252	2,164,702
自己株式	—	△405
株主資本合計	1,070,252	5,216,105
純資産合計	1,070,252	5,216,105
負債純資産合計	6,997,244	16,464,309

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
売上高	5,369,689	9,174,699
売上原価	3,221,208	5,422,764
売上総利益	2,148,481	3,751,935
販売費及び一般管理費	1,238,741	1,925,278
営業利益	909,739	1,826,656
営業外収益		
受取利息	662	658
補助金収入	5,259	6,683
償却債権取立益	492	6,083
違約金収入	—	15,000
雑収入	4,545	5,164
営業外収益合計	10,960	33,590
営業外費用		
支払利息	52,611	116,508
株式交付費	—	5,459
雑損失	3,351	9,331
営業外費用合計	55,963	131,299
経常利益	864,737	1,728,947
特別損失		
固定資産除却損	6,436	1,207
特別損失合計	6,436	1,207
税金等調整前当期純利益	858,300	1,727,739
法人税、住民税及び事業税	276,774	615,471
法人税等調整額	△21,110	△92,181
法人税等合計	255,664	523,290
当期純利益	602,636	1,204,449
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	602,636	1,204,449

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
当期純利益	602,636	1,204,449
包括利益	602,636	1,204,449
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	602,636	1,204,449
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	40,000	10,000	417,615	—	467,615	467,615
当期変動額						
剰余金の配当			—		—	—
新株の発行	—	—			—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益			602,636		602,636	602,636
自己株式の取得				—	—	—
当期変動額合計	—	—	602,636	—	602,636	602,636
当期末残高	40,000	10,000	1,020,252	—	1,070,252	1,070,252

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	40,000	10,000	1,020,252	—	1,070,252	1,070,252
当期変動額						
剰余金の配当			△60,000		△60,000	△60,000
新株の発行	1,500,904	1,500,904			3,001,808	3,001,808
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,204,449		1,204,449	1,204,449
自己株式の取得				△405	△405	△405
当期変動額合計	1,500,904	1,500,904	1,144,449	△405	4,145,852	4,145,852
当期末残高	1,540,904	1,510,904	2,164,702	△405	5,216,105	5,216,105

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	858,300	1,727,739
減価償却費	170,454	264,408
のれん償却額	16,539	16,539
賞与引当金の増減額 (△は減少)	60,486	112,991
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,653	19,195
受取利息	△662	△658
支払利息	52,611	116,508
株式交付費償却	—	5,459
固定資産除却損	6,436	1,603
売上債権の増減額 (△は増加)	△519,781	△741,443
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,631	△1,747
その他の資産の増減額 (△は増加)	9,904	△354,648
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,095	10,064
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	95,361	319,628
その他の負債の増減額 (△は減少)	16,604	78,067
その他	—	△835
小計	767,327	1,572,871
利息及び配当金の受取額	662	21
利息の支払額	△52,611	△117,650
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△270,194	△340,847
営業活動によるキャッシュ・フロー	445,184	1,114,394
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,184,528	△4,895,877
有形固定資産の売却による収入	233,617	835
敷金及び保証金の差入による支出	△192,145	△399,688
敷金及び保証金の回収による収入	4,000	30,695
その他	—	10,648
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,139,054	△5,253,385
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	109,940	1,145,000
長期借入れによる収入	1,273,000	3,278,000
長期借入金の返済による支出	△679,982	△253,711
リース債務の返済による支出	△42,947	△74,738
株式の発行による収入	—	2,987,721
配当金の支払額	—	△60,000
その他	—	△405
財務活動によるキャッシュ・フロー	660,010	7,021,866
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△33,860	2,882,875
現金及び現金同等物の期首残高	486,764	452,904
現金及び現金同等物の期末残高	452,904	3,335,780

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当連結会計年度において、当社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、原状回復費用の新たな情報の入手に伴い、見積りの変更を行いました。この見積りの変更による減少額83,891千円を変更前の資産除去債務残高から減算しています。なお、当該見積りの変更は当連結会計年度末に行ったため、当連結会計年度の損益に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループは、医心館事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり純資産額	53.51円	231.60円
1株当たり当期純利益	30.13円	53.78円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	52.31円

- (注) 1 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は前連結会計年度において非上場であり、期中平均株式が把握できないため、記載しておりません。
- 2 当社は、2019年7月31日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。また、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益、潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
- 3 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	602,636	1,204,449
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	602,636	1,204,449
普通株式の期中平均株式数(株)	20,000,000	22,397,003
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	626,854
(うち新株予約権(株))	—	626,854
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権5種類(新株予約権の数1,838個)。	—

- 4 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2020年9月30日)
純資産の部の合計額(千円)	1,070,252	5,216,105
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,070,252	5,216,105
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	20,000,000	22,521,880

(重要な後発事象)

該当事項はありません。